

**令和3年度進行管理・評価シート**  
**萩市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成31年3月26日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働 .....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成 .....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 萩時代まつり支援事業 .....	3
2 萩夏まつり支援事業 .....	4
3 萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業 .....	5
4 浜崎伝建おたから博物館支援事業 .....	6
5 ワンコイントラスト(百円信託)運動 .....	7
6 萩検定・子どもものしり博士検定支援事業 .....	8
7 萩・万灯会 .....	9
8 萩・大茶会支援事業 .....	10
9 萩ものがたり出版支援事業 .....	11
10 萩焼まつり支援事業 .....	12
11 語り部活用事業 .....	13
12 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 .....	14
13 地域コミュニティ組織づくり事業 .....	15
14 萩・夏みかんまつり支援事業 .....	16
15 萩反射炉保存修理事業 .....	17
16 恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業 .....	18
17 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 .....	19
18 萩城跡保存修理事業 .....	20
19 文化財保護修理事業 .....	21
20 弘法寺堀内線他無電柱化事業 .....	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項 .....	23
2 文化財の普及・啓発等に関する事項 .....	24
3 文化財施設等の活用に関する事項 .....	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)	28
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	29

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働		現在の状況  <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

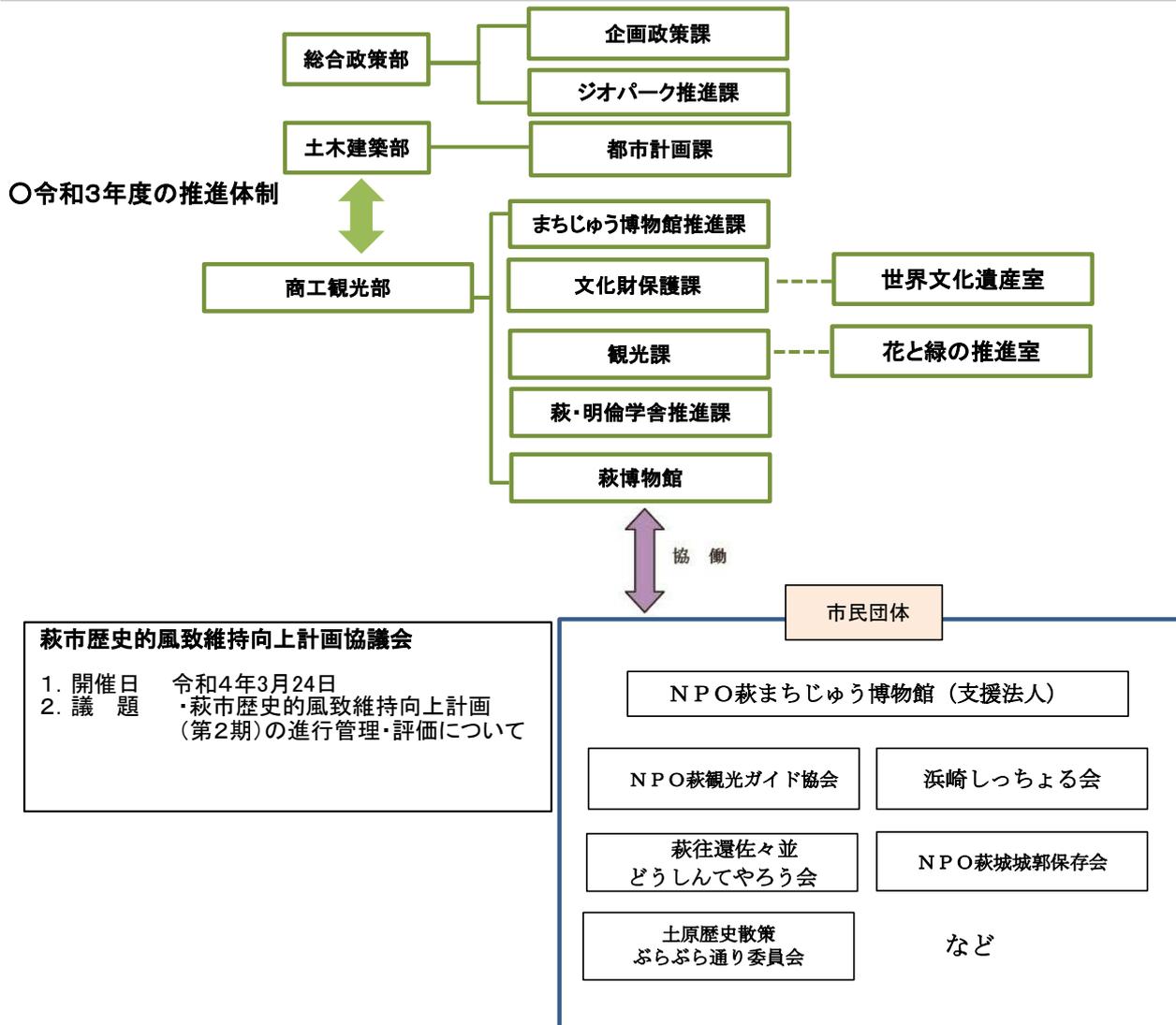
計画に記載している内容  
 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、観光政策部が中心となって行い、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちゃん会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 行政の組織体制においては、令和3年度に観光政策部を改め、商工観光部を設置するなど、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを商工及び観光行政と連携して総合的に進める体制を強化している。民間団体の取り組みについては、「萩まちじゅう博物館構想」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちゃん会」、「萩往還佐々並どうしてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。  
 NPO萩まちじゅう博物館会員数 188人、NPO萩観光ガイド協会会員数 95人  
 浜崎しっちゃん会会員数 63人、萩往還佐々並どうしてやろう会会員数126人  
 (令和4年3月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり推進体制の確立



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	令和3年度

項目	現在の状況
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部の環境を保全するために、新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

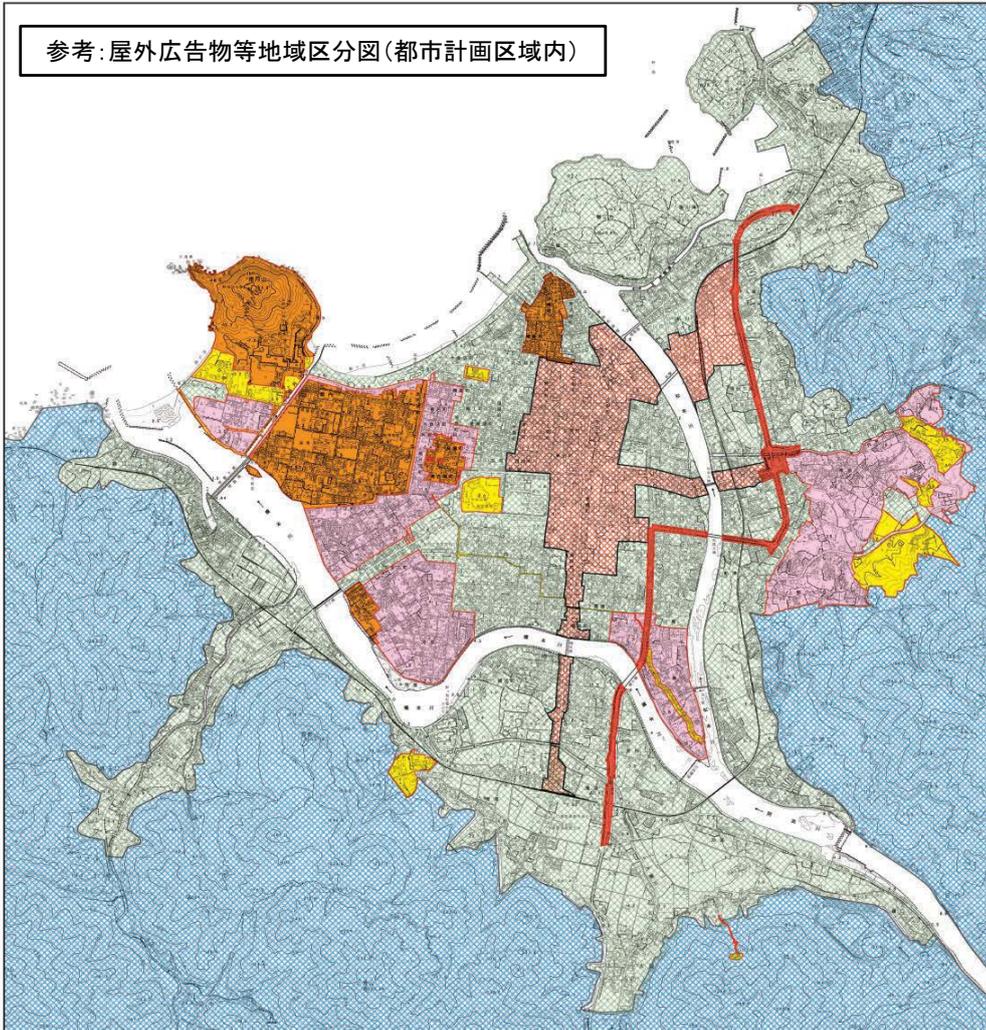
重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に運用を始めた萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、歴史的風致の維持及び向上に努めている。

○令和3年度 萩市景観計画区域内行為届受理件数 72件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいたうえで、基準に適合させた建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等

参考:屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内)



禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		

※第3種許可地域は都市計画区域外を含む

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩時代まつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることで、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
「草履舞」奉納の様子		平安古備組「手廻り備え行列」	
			
古萩大名行列			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
<b>萩夏まつり支援事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和38年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区巖島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
浜崎伝建おたから博物館支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
 コロナウイルス感染拡大防止策、おたからの保存・活用が課題であり、イベント時のみならず、常時おたからを活用できる仕組みが必要。

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



会場の様子



御船倉コーラスコンサート



おたからの展示の一部



浜崎魚市場のセリ体験

**評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
ワンコイントラスト(百円信託)運動			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
トラストボックス設置箇所 12箇所 ※⑩～⑫令和4年9月設置 ①道の駅「萩しーまーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩「道の駅」ゆとりパークたまがわ ⑪いかマルシェ ⑫つわぶきの館 トラスト金額 累計31,999,270円 (令和4年3月31日現在)			
本年度の信託金は、次年度以降の助成事業の実施に向け積み立てることとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、民間施設等へ募金箱設置の検討を行う。		

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

<p><b>第1号 井上勝旧宅門</b></p> <p>修復後</p>  <p>名 称：井上勝(政通の父)旧宅門                      物件の公開：萩市土庫 2020.1                      修復年月：平成18年4月</p>	<p><b>第2号 猿田彦面山車</b></p> <p>修復後</p>  <p>名 称：猿田彦面山車                      物件の公開：住吉神社のお祭り                      で一般公開                      修復年月：平成18年10月</p>	<p><b>第3号 平安古備組道具類</b></p> <p>修復後</p>  <p>名 称：平安古備組道具類                      ※文字線や部分付録など10点                      物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で                      一般公開                      修復年月：平成19年7月</p>	
<p><b>第4号 御網代車</b></p> <p>修復後</p>  <p>名 称：御網代車                      物件の公開：毎年11月に行われる金谷天満宮祭礼の御神幸                      神事で一般公開                      修復年月：平成20年10月</p>	<p><b>第5号 長州砲</b></p> <p>英国より里帰りを実現</p>  <p>名 称：長州砲(萩野流一貫目青銅砲)                      物件の公開：萩博物館で定期固定公開                      量・備 用：平成20年8月から平成21年5月まで                      修復年月：平成20年8月</p>	<p><b>第6号 伊藤博文公先祖の墓碑</b></p> <p>修復後</p>  <p>名 称：伊藤博文公先祖の墓碑                      物件の公開：福徳寺境内にて常時公開                      修復年月：平成21年9月</p>	
<p><b>第7号 高杉晋作立志像</b></p> <p>銅像建立</p>  <p>名 称：高杉晋作立志像                      物件の公開：史跡萩城下町                      にて常時公開                      建立年月：平成22年10月</p>	<p><b>第8号 奇兵隊隊服</b></p> <p>奇兵隊隊服を再現</p>  <p>名 称：奇兵隊隊服                      物件の公開：萩時代まつりや                      萩博物館で一般公開                      完成披露：平成25年6月</p>	<p><b>第9号 久坂玄瑞進撃像</b></p> <p>銅像建立</p>  <p>名 称：久坂玄瑞進撃像                      物件の公開：萩市中央公園                      にて常時公開                      建立年月：平成27年1月</p>	
			<p><b>第10号 井上勝志気像</b></p> <p>銅像建立</p> <p>名 称：井上勝志気像                      物件の公開：萩駅前にて                      常時公開</p> 

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 令和3年度

項目	現在の状況
萩検定・子どもものしり博士検定支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～ ※「萩検定」は旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、令和元年度から開始

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 ①萩検定  
 ・初級 開催期間: 通年  
 内容: 自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検可。テキストより各科目50問出題 択一式 45問以上正解で合格  
 ・中上級 開催日: 令和3年12月5日(日)  
 内容: 自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。  
 テキストより各科目50問出題 択一式・記述式 45問以上正解で合格  
 開催場所: 萩市総合福祉センター  
 萩検定は平成17年度より実施している旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、初級は自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検可能とした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 受検をきっかけとした、まちじゅう博物館活動の活性化や交流人口の拡大が課題。

状況を示す写真や資料等

■旧萩ものしり博士検定、萩検定 受検者・合格者

旧萩ものしり博士検定修士課程・萩検定初級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H27	68人	65人	61人	93.8%
H28	68人	62人	56人	90.3%
H29	48人	42人	35人	83.3%
H30	54人	46人	41人	89.1%
R元	863人	863人	618人	71.6%
R2	469人	469人	209人	44.6%
R3	643人	643人	246人	38.3%



旧萩ものしり博士検定博士課程・萩検定中級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H27	26人	23人	8人	34.8%
H28	32人	29人	9人	31.0%
H29	27人	24人	8人	33.3%
H30	37人	33人	6人	18.2%
R元	183人	169人	140人	82.8%
R2	86人	77人	47人	61.0%
R3	67人	61人	43人	70.5%



萩検定上級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
R2	83人	80人	30人	37.5%
R3	54人	48人	16人	33.3%



子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
H27	394人
H28	404人
H29	368人
H30	355人
R元	361人
R2	コロナのため中止
R3	549人

子どもものしり博士検定用テキスト(改訂版)「萩ものしりブック」

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度、大照院ではコロナウイルス感染拡大防止のため中止。  
 ◆東光寺<送り火> 開催日時 令和3年8月15日(日) 石燈籠(約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

コロナウイルス感染拡大防止策、施設の維持・管理が課題。新たな活用方法等により維持・管理方法の検討が必要。

状況を示す写真や資料等

「東光寺」万灯会の様子



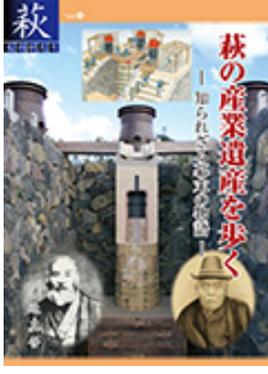
評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩・大茶会支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

「萩・大茶会」の様子



評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年4月発行 ・萩ものがたり69号 「リーダーとしての山県有朋」(京都大学名誉教授 伊藤之雄 著) ・萩ものがたり70号 「萩の産業遺産を歩く―知られざる幕末の物語―」(萩博物館総括学芸員 道迫真吾 著) 令和3年10月発行 ・萩ものがたり71号 「絵図で見る萩の街道 弐―天才地理図師 有馬喜惣太―」(山口県立山口博物館学芸専門監 山田稔 著) ・萩ものがたり72号 「萩の歴史的町並み 上巻 誕生から現在まで」(萩博物館長・萩まちじゅう博物館長 大槻洋二 著) 平成16年度からの累計発行数72巻			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		購読者増のため、インターネット通販などによる対応の検討が必要。	
状況を示す写真や資料等			
		令和3年4月発行 ・萩ものがたり69号 「リーダーとしての山県有朋」 (京都大学名誉教授 伊藤之雄 著)	
		・萩ものがたり70号 「萩の産業遺産を歩く―知られざる幕末の物語―」 (萩博物館総括学芸員 道迫真吾 著)	
		令和3年10月発行 ・萩ものがたり71号 「絵図で見る萩の街道 弐―天才地理図師 有馬喜惣太―」 (山口県立山口博物館学芸専門監 山田稔 著)	
		・萩ものがたり72号 「萩の歴史的町並み 上巻 誕生から現在まで」 (萩博物館長・萩まちじゅう博物館長 大槻洋二 著)	

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため同一会場での開催を中止し、萩焼まつりweb版陶器市としてweb販売で開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数や客単価向上に繋げるため新しい企画等を考案する必要がある。コロナウイルス感染拡大防止策。		
状況を示す写真や資料等			
<p>「Web販売」</p> 			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
語り部活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩市の歴史的風致を構成する豊かな歴史、文化、自然等につつまれる物語(ストーリー)を「語り部」が文化財施設などで観光客等に語るにより、萩市の歴史や文化を広く全国発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度はコロナウイルスの影響により開催実績はなし。			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策。体験観光のメニューの一つとして、観光客へのPRも必要。

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子



評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時: 令和3年5月7日(金)から令和4年3月25日(金) 事業実施箇所: 鶴江・香川津・新川地区 事業主体: 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業内容 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録した。(データ作成件数72件) ・おたから(文化遺産)認定事業 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行った。(令和2年度に認定されたおたから(文化遺産)鶴江・香川津・新川地区72枚) ・おたから(文化遺産)データベースの作成 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会(おたから総会)を開催した。(参加者約30名) ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業 事業実施地域などで公民館などと協力し、交流イベント等を開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信した。(交流イベント等参加者 福栄地区40名、地域おたから活用セミナー38名)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。	
状況を示す写真や資料等			
○調査による地域おたからマップの作成			
【平成25年度】 旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地	【平成26年度】 堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域	【平成27年度】 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域	
			
【平成28年度】 椿地区、大島地区、大井地区、三見地区	【平成29年度】 江向地区、相島地区、浜崎地区	【平成30年度】 見島地区、玉江地区、山田・木間地区	【令和元年度】 田町地区
			
【令和2年度】 寺町地区	【令和3年度】 鶴江・香川津・新川地区		
			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するため、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。			
令和3年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、田万川、むつみ、須佐、旭、福栄地域) ・交付金額 23,822千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの影響により、計画通りの活動が困難な中、創意工夫を凝らして地域コミュニティ活動を実施している。		

状況を示す写真や資料等

○魅力ある地域づくり交付金の活用例



古地図でまち歩きガイド

【須佐地域】

- 須佐地域伝統文化継承事業
- ・古地図でまち歩き
- ・須佐歴史民俗資料館(みこと館)の展示
- ・上三原の田植えばやしの伝承



伝統文化行事の継承(地蔵盆)

【旭地域】

- 明木地区文化作品展
- ・明木地区の住民による文化作品の展示発表会を開催
- 佐々並どうしんてやろう会
- ・伝建地区のまちなみガイド
- ・伝統文化行事の継承
- 彦六・又十郎伝保存会
- ・紙芝居披露等の伝承活動

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩・夏みかんまつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	土堀越しにのぞく夏みかんは、萩を代表する景観の一つ。本事業を通じ萩の伝統的建造物が多く残る景観と夏みかんの深い関係を広く情報発信することにより、夏みかんに関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和3年5月8日(土)・9日(日) 10時～16時		
入込数	2,955人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オープニングセレモニー</li> <li>●夏みかん製品等の販売</li> <li>●夏みかん収穫体験</li> <li>●夏みかんクイズラリー&amp;ガラポン抽選会</li> <li>●萩八景遊覧船 無料乗船体験 など</li> </ul>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩を代表する、特産品である夏みかん及び夏みかんに関わる独自の風景などのPRとして、効果的なイベントとなっている。コロナウイルス感染拡大防止策やスムーズな会場への誘導対策が課題。		
状況を示す写真や資料等			
「萩・夏みかんまつり」会場内の様子			
			

評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
萩反射炉保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

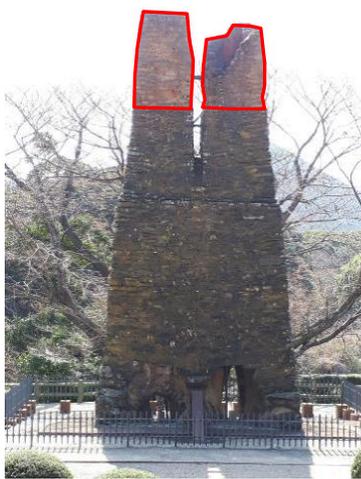
事業期間 平成22年度～令和9年度  
支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩反射炉は前回の保存修理工事から35年が経過し、煙突本体煉瓦部の劣化が著しい状態であるため、当該箇所を保存修理を行い歴史的景観の保全を図ることにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

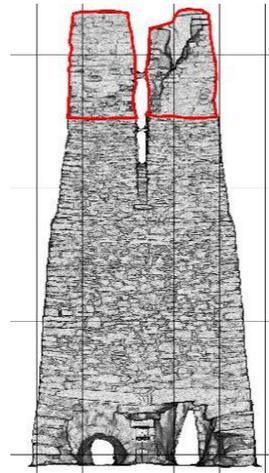
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
萩反射炉の劣化が進行した塔体煉瓦部及び煉瓦目地の補修方法について、建築学・工学の専門家による専門部会及び整備委員会をそれぞれ1回開催し、専門委員からの指導・助言を受けながら、令和2年度に合意を得た煉瓦部補修の基本方針、補修用煉瓦の仕様に基づき、煉瓦部の補修工法の検討及び目地材の強度試験方法の検討等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩反射炉の築造に使用された幕末期の煉瓦については、全国的に見ても類例に乏しく、専門家の中でも補修方法が確立されておらず、萩反射炉整備委員会の各委員、内閣官房及び文化庁等と協議を重ねながら、一つずつ意見調整を行っているため、保存修理方法の決定に時間を要している。 この課題を解決するため、実験を重ねながらデータを収集・分析し最適な煉瓦部の設計を行い、各専門委員等の承認を得た上で、早期に保存修理工事に着手することを目指す。

状況を示す写真や資料等



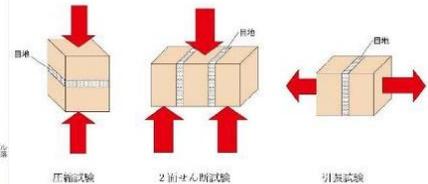
【萩反射炉 現況写真】



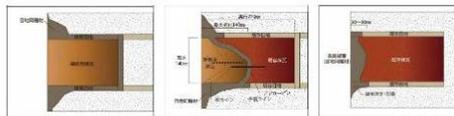
【萩反射炉 立面図】



画像データによる煉瓦部劣化状況の比較研究



【萩反射炉 煉瓦目地強度実験(案)】



【萩反射炉 煉瓦部補修方法(案)】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成27年度～令和11年度
支援事業名	市内遺跡発掘調査等事業

計画に記載している内容  
 恵美須ヶ鼻造船所跡は、幕末に萩藩が洋式軍艦を建造した遺跡である。この遺跡の調査研究・保存整備を行うことで、その歴史的価値が向上し、多くの人々に情報発信することにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

確認調査

期間:12月6日～2月7日

調査箇所・面積:トレンチ1(180㎡)、トレンチ2(45㎡)、合計225㎡

調査内容・成果:トレンチ1 重機による護岸石垣前の転石除去、3Dレーザー測量

トレンチ2 昭和期(護岸石垣、道跡、網小屋跡、整地層)、江戸期(海岸線、不明遺構2条、柱穴1基、整地層)

現地見学会:無(コロナウィルス感染症拡大のため)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 令和元年度から令和3年度確認調査により、I地区からIII地区すべての基本層序と、昭和期と江戸期、江戸以前の海岸線の変遷を確認することができた。令和4年度は庚申丸造船場の規模を確定するための確認調査を予定している。

状況を示す写真や資料等

(1) 護岸石垣 江戸期と昭和期の2層の護岸石垣を確認しました。南岸は江戸石垣から昭和石垣の間を昭和30年代までに築立て、現在の岸壁までは昭和42-43年に築立てられています。

江戸石垣 径50～100cm程度の自然石を使用し、上から4段目まで確認しました。深さは確認できる範囲で約1mです。自然石は中ノ台の面から北の海岸にみられる安山岩です。特徴は1段目の開口部、1～4段目の階段状遺構と4段目の張り出し部です。これらの遺構は潮の干満差を利用した木材等の残遺遺構と考えられています。残遺された木材は穴掘り木鼻へ運搬されています。

T2では江戸期の海岸を確認しましたが、T1のような石垣ではなく、岸壁を保護するための石を充填し組み立てられているものでした。底面は砂と礫です。

昭和石垣 上部が1辺約40cm、奥行約60cmの四角柱状に組立てられた石材を使用しています。組み方は上部が各積みで、下部は江戸石垣と同じ積み方です。上部各積みは3段、下部野面積みは3段確認しました。また、T2では2段階築の石垣を確認しました。1段目は加工石材を3段積み上げています。2段目はトレンチ内の狭で確認したため、上面のみの確認に留めています。1段目と2段目の間の平均厚は幅約2mです。護岸部約50cmは敷石で、ほかは砂と小さな礫で固く積み重ねていました。

(2) 遺構遺構 T2では遺構遺構を確認できませんでしたが、昭和期の網小屋の基礎内から多量の鉄線、伊草、フイコ羽口、鉄線片等が出土しました。跡留遺構遺物が含まれていた層は明治以降に盛地された砂礫層上に堆積していることから、二次地積層と推測されます。遺構遺構はT2より北東側から確認された敷石土垣と推察されます。

(3) 物置遺構 T2では2条の黄褐色粗粒砂を確認しています。これらの遺構が物置の基礎遺構ではないかと考えています。

図版1 発掘調査の成果

【凡例】

- 遺船所跡の海岸推定線(石垣)
- 榎木伊豆下屋敷跡の海岸推定線(石垣)
- 江戸時代以前の海岸推定線(磯・砂・貝)
- 昭和期の海岸推定線(磯・砂・貝)
- 内丸丸及び庚申丸造船所の各施設推定位置(概図と平成30年度までの調査成果に基づく)
- R2年度までの調査成果 ● 実石(柱基礎) ● 柱穴
- 本年度(R3)調査したトレンチ
- 昭和42-43年度
- 昭和期調査成果
- 江戸期調査成果

図版1は、発掘調査の成果を示す図面と写真の集合です。図面には、トレンチ1とトレンチ2の位置、護岸石垣の構造、遺構の位置などが示されています。写真には、現場の様子、出土品、測量結果などが掲載されています。

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業、萩市単独事業		
計画に記載している内容	国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物や歴史的景観との保全が図られ、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国選定重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景8件 民間が所有する土塀、石垣及び主屋等の保存修理、修景を実施 ・堀内鍵曲り土塀夏みかん及び生垣植栽、説明看板設置 堀内鍵曲り土塀を整備し、周辺の文化財施設と連携し、価値と魅力を向上 ・浜崎伝建地区町家モデル保存整備工事 萩市が抱える空き家問題・まちなみの保存・移住定住等の課題を解決し、今後の伝建地区におけるまちなみの保存と活用に向けたモデル事業として、保存整備工事を実施			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緊急度等を勘案し計画的に保存修理工事を実施し、歴史的まちなみを保存する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
	修理前		修理後
伝統的建造物(石垣)の保存修理工事(堀内伝建地区)		⇒	
伝統的建造物(米蔵)の保存修理工事(平安古伝建地区)		⇒	
浜崎伝建地区町家モデル保存整備工事		⇒	

<b>評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</b>		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
萩城跡保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	史跡萩城跡を構成している重要な石垣の保存修理、城内の整備を行うことにより、花江茶亭などの伝統的建造物との歴史的景観の向上に繋がり、茶道にみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡萩城跡(外堀)の経年により劣化した遊歩道舗装面及び水路木柵の復旧工事を実施した。 ・延長約15m、幅約1.4mの範囲の既存舗装面を撤去し、新規舗装を施工。 ・延長約22mの範囲の劣化が進行した既存木柵を、防腐処理を施した新規木柵に更新。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	掘削を伴う施工であったため、埋蔵文化財専門職員立会のもと、地下遺構に影響のない範囲での施工した。		

状況を示す写真や資料等

史跡萩城跡(外堀)遊歩道及び木柵復旧工事



施工前(北西から)



施工前(南から)



施工後(同上)



施工後(同上)

評価軸③-19  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財保護修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 良好な町並みの景観の保全と歴史的建造物等の適正な維持管理が促進され、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 文化財の修理等については、定期的に各文化財を巡視するとともに、文化財保護指導員や観光ガイドと協力し情報収集に努め、維持補修等を適切に実施しつつ、優先順位を付け計画的に修理事業に取り組んでいる。  
 令和3年度は、4件の保護修理を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

維持管理を行っている文化財施設が多数にわたり、保護修理に必要な予算の確保が十分ではないため、定期的な巡視を行うことにより、初期段階での補修に努めている。また、優先順位を決め、計画的に修繕事業を進めている。

状況を示す写真や資料等

天然記念物明神池 護岸石積補修工事  
 経年により変状した明神池東岸南方の護岸石積及び上部石灯籠を一旦解体し、積み直し復旧工事を行った。



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

弘法寺堀内線他無電柱化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業期間 令和元年度～令和7年度

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 世界文化遺産の構成資産、「萩城下町」の要素のひとつである、「御成道」等について、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度に無電柱化の概略検討業務を実施し、既設の地下埋設物や道路、建物等の状況を確認し、技術的に無電柱化が可能かどうかの検討を行い、概略の計画を作成した。また、各電線管理者との協議を行い、自治体管路方式での整備について合意の形成を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	自治体管路方式で整備予定であるが、補助メニューを模索中である。また国指定史跡のエリアであり、令和3年度は、史跡の有無や地下埋設物の正確な位置を確認するため試掘を実施した。その結果を令和3年度内に文化庁へ報告し、今後、事業を進めるにあたって文化庁からの指示を受ける予定である。
--------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

**事業イメージ**

現状



無電柱化後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財を巡視するとともに維持補修等を適切に行いつつ、長期的な計画に基づき各年度ごとに定めた保存修理事業や発掘調査を実施している。平成30年度からは、平成28・29年度に策定した萩反射炉をはじめとした世界文化遺産に係る「整備基本計画」に基づき、関連する遺跡等について整備を進めている。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査なども定期的に進めている。

【令和3年度主要事業】

・文化財の修理及び保存

伊藤博文旧宅保存修理事業

屋根の葺替、軸部の修理、内装の修繕を実施。(期間:令和元年度～令和3年度)

・文化財の周辺環境の保全及び整備

・文化財の適正な保存と活用方法の計画及び設計

・埋蔵文化財の調査

史跡地及び周知の埋蔵文化財包蔵地の調査を随時実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を実施。令和3年度は、史跡萩城下町における無電中化計画に伴い、地下遺構の有無を確認する発掘調査を実施。なお、検出遺構については、保護したうえで施工する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



史跡の保存修理 修理前  
(国指定史跡 伊藤博文旧宅)



史跡の保存修理 修理後  
(国指定史跡 伊藤博文旧宅)



埋蔵文化財の発掘調査  
(国指定史跡 萩藩主毛利家墓所)



埋蔵文化財の発掘調査  
(国指定史跡 萩城下町)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災・防犯		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。市所有の文化財施設の大部分については、機械警備を設置し防犯に努めている。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。様々な事業で広く普及・啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な事業展開を行うことができなかった。しかし、市内の方を対象としたイベント等を工夫を重ねながら行った。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に努めている。

【令和3年度主要事業】

・文化財の普及・啓発

(1)世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る普及・啓発

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集を実施した。(応募総数 中学生31点 小学生21点)

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る現地を巡るカードラリーを開催した。(令和3年10月～12月)

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」について学び、次世代のガイドを育成するため萩観光ガイド養成セミナーを企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とした。

(2)伝統的建造物群保存地区に係る普及・啓発

周年事業として重伝建選定佐々並市10周年、浜崎20周年、堀内・平安古45周年記念シンポジウムを実施した(令和3年11月23日)

・文化財の特別公開

保存修理事業が完了した国指定史跡伊藤博文旧宅において内部の特別公開を実施した。(令和3年12月18日(土)～26日(日))

・文化財の維持管理

伝統的建造物群保存地区(堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市)の町内会や保存団体等により、地区内の清掃を年間を通じて実施した。

・文化財エリアの活用

浜崎伝建地区内の旧山村家住宅及び旧山中家住宅を管理・運営する地元団体浜崎しゅる会主催のHAGI・浜崎朝市を実施した。(令和3年12月5日)

・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開

萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

世界文化遺産登録後、来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。

状況を示す写真や資料等



文化財の普及・啓発

【萩市総合福祉センター】

重伝建選定佐々並市10周年、浜崎20周年、堀内・平安古45周年記念シンポジウム  
令和3年11月23日(火) (170人)



文化財の普及・啓発

【世界文化遺産の構成資産】  
絵画展



文化財の普及・啓発

【世界文化遺産の構成資産】  
カードラリー

令和3年10月1日～12月24日 (2,735枚配布)



文化財の普及・啓発

【国史跡 伊藤博文旧宅】  
伊藤博文旧宅特別公開

令和3年12月18日(土)～26日(日) (457人)



文化財エリアの活用

【浜崎伝建地区周辺】  
HAGI・浜崎朝市

令和3年12月5日(日) (3,000人)



萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業

【鶴江・香川・新川地区】

令和3年5月7日(金)～令和4年3月25日(金)  
萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
----	--------	-------

①文化財施設等の活用	現在の状況	
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

市内全域には国指定文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が167件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めている。令和3年度は、コロナウイルスの影響により、主要な行事・イベントは中止となったが、感染防止対策を実施しながら、一般公開や利活用を実施した。

主な事業等

【令和3年度】

萩城跡等ライトアップ、着物ウィークin萩、萩・竹灯路物語、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつりなど

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

コロナウイルス感染拡大防止策を行い、安全に楽しめるイベントの構築

令和2年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ  
 【萩駅舎(登録有形文化財)】

通年:日没~22:00  
 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



着物ウィーク

【萩城城下町(史跡)ほか】  
 令和3年10月1日(金)~10日(日)  
 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント  
 (3,740人)



萩・竹灯路物語

【萩城城下町(史跡)ほか】  
 令和3年10月8日(金)~9日(土)  
 竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (1,850人)



萩城下の古き雑たち

【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか14施設】  
 令和4年2月21日(月)~4月3日(土)  
 萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント



萩・椿まつり

【笠山虎ヶ崎椿群生林(天然記念物)】  
 令和4年2月21日(月)~3月21日(月・祝)  
 椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント  
 (23,345人)



文化財施設を活用したコンサート等  
 【萩・明倫学舎】

国登録有形文化財(萩・明倫学舎【本館】)を活用したコンサート等を年数回開催

※( )は集客数

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道	評価対象年度 令和3年度	
	報道等タイトル	年月日 掲載紙等
<b>【計画等に関連する記事】</b>		
成長と無病息災を願う 萩で100人が流しびな	R3.4.4	山口新聞
萩博物館 街道絵図など44点 三見栄えた宿場町	R3.4.15	読売新聞
ツバキの木保護 市民がこも巻	R3.4.19	毎日新聞
水の都・萩の歴史再発見 萩博物館で企画展	R3.4.20	山口新聞
萩博物館一足早く夏ミカン開花宣言	R3.4.22	山口新聞
夏蜜柑丸漬 皮煮る糖蜜 上品な甘さ	R3.4.22	山口新聞
「水の都・萩」を名所巡り体験	R3.4.25	山口新聞
萩焼オンライン陶器市	R3.4.27	読売新聞
市内各地で代替イベント「萩焼まつり」中止 密集避け30店舗で	R3.4.27	山口新聞
萩の松本川「シロウオ」産卵調査 8カ所中5カ所で確認	R3.4.28	山口新聞
夏ミカン開花	R3.5.1	山口新聞
萩焼まつり代替イベント始まる 密集避け市内全域で	R3.5.2	山口新聞
萩焼まつり まち全体が会場に	R3.5.2	朝日新聞
カフェや展示休憩室充実 萩・笠山山頂展望台リニューアル	R3.5.3	山口新聞
萩焼10窯元 陶器市開催	R3.5.7	毎日新聞
萩・夏みかんまつり 2年ぶり開催	R3.5.9	山口新聞
山県有朋や産業遺産紹介 「萩ものがたり」最新刊2冊	R3.5.11	山口新聞
夏ミカンの花甘く香る	R3.5.13	読売新聞
故郷の夏みかんでワイン造り進行中	R3.5.14	朝日新聞
見た目「岩石」の菓子 笠山山頂展望台のカフェ販売	R3.5.19	山口新聞
萩・寺町地区の魅力など紹介 「おたからマップ」発行	R3.5.25	山口新聞
夏ミカン栽培 昔の風景 萩で写真展	R3.5.26	読売新聞
三見地区の歴史や特徴紹介 萩博物館で特集展示	R3.5.26	山口新聞
萩往還マラニック “復活”	R3.5.26	毎日新聞
萩のシロウオ漁獲高45キロ 過去2番目の少なさ	R3.5.27	毎日新聞
萩夏ミカン、湯船に 東京・足立の銭湯28件でPR	R3.5.31	山口新聞
萩六島を一望 展望台リニューアル	R3.6.6	毎日新聞
「男命いか」豊漁期待 萩・須佐特産、例年より早い水揚げ	R3.6.8	山口新聞
田植えでジオパーク理解 萩の椿西小児童ら	R3.6.17	山口新聞
萩のお宝を絵本で紹介 NPOなどが制作	R3.6.22	読売新聞
「瀬付きあじ」7月フェア	R3.6.29	山口新聞
旬の瀬付きあじフェア	R3.6.30	読売新聞
瀬付きあじを味わうフェア	R3.7.3	毎日新聞
夏期特別展「萩・昆虫城夏の陣」萩博物館	R3.7.10	山口新聞
旬の「瀬付きあじ」めしあがれ	R3.7.13	朝日新聞
カブトムシと友達になるぞ 萩・むつみ昆虫王国	R3.7.18	山口新聞
カブトムシに触れて遊ぼう	R3.7.18	毎日新聞
「むつみひまわりロードフェスタ」	R3.7.24	山口新聞
ヒマワリ畑迷路も登場 萩・むつみ	R3.8.2	毎日新聞
萩の海底地形図を学ぼう！ 明倫学舎で記念展示	R3.8.2	朝日新聞
萩・むつみの夏	R3.8.4	山口新聞
太陽に輝く 萩、ヒマワリ25万本	R3.8.5	読売新聞
「海の地図」を学ぼう 萩・明倫学舎で海図展示	R3.8.11	山口新聞
12月「萩検定」受検者を募集	R3.8.19	毎日新聞
12月5日、萩検定 中級、上級コース	R3.8.24	山口新聞
海底の地形見てみよう 萩・明倫学舎	R3.8.25	読売新聞
萩・明倫学舎の周辺を清掃活動	R3.8.25	山口新聞
商店街に“光の道”出現	R3.8.29	山口新聞
旧明倫小4号棟 入居めど	R3.9.1	読売新聞
萩・昆虫城 夏の陣 萩博物館	R3.9.7	山口新聞
昆虫標本収蔵品1万5000点 萩博物館	R3.9.8	読売新聞
萩市の町歩きガイドツアー 都市景観大賞で優秀賞	R3.9.9	毎日新聞
萩焼伝統工芸士会展 渡辺蒿蔵旧宅	R3.9.14	山口新聞
元気な音色響かせて 萩・明倫学舎にピアノ	R3.9.23	山口新聞
あすから「萩焼Web版陶器市」	R3.9.30	山口新聞

<p>萩できょうから「着物ウィーク」  萩焼 ウェブで陶器市  古民家改修し事務所に  萩着物ウィーク開幕  竹灯籠で明倫学舎幻想的に  竹の灯籠、幻想的 萩・明倫学舎でイベント始まる  萩城下 あでやか着物姿  萩、8、9日の夜城下町に竹灯籠  萩焼1000点出品ウェブ陶器市  色づく長門峡 紅葉が見ごろ  深まりゆく長門峡の秋  長門峡、しっとり紅葉鮮やか  萩で世界遺産カードラリー  萩の重要伝建地区地域づくりを探る 23日にシンポ  浜崎 静かなる北前船の名残  萩・平蔵台で雲海  毛利輝元の御城印  出川哲郎さん 萩市長賞 着物ウィーク写真コン テレビロケで訪れ撮影  笠山のツバキ開花宣言  笠山のツバキ開花宣言  萩イルミネフェスタ  萩で世界遺産カードラリー  萩城下町マラソン1275人駆ける  伊藤博文旧宅 真新しく 萩市、保存修理工事完了  伊藤博文旧宅 修理が終了  伊藤博文旧宅 保存修理完了  萩 着物フォトコンテスト  萩・明倫学舎で展示会 小学生から高校生までの萩焼作品  児童と生徒の萩焼作品展示  萩ものがたりブックレットシリーズ 「絵図で見る萩の街道」など最新2冊  手作りたこ展示 萩の渡辺菴蔵旧宅で  椿群生林の保全へ意見交換 樹木医、専門家ら参加しシンポ  シロウオの産卵場作り  シロウオ産卵場増加へ川へ投石  萩城下の古き雛たち  落ち椿 心華やぐ散策路  萩城下の雛人形きょうから公開 当面3会場限定  萩観光シーズン開き コロナ早期収束願う  観光客増と安全祈願 シーズン開き神事  来月、萩往還ワンデーウォーク  萩ジオパークの魅力動画で  ヤブツバキ 樹勢取り戻そう  樹勢回復、群生林再生へ  萩・笠山椿群生林 樹勢回復へ 伐採再生試験順調に2年目  萩往還「涙松」再び  シロウオ豊漁祈願  萩のシロウオ多くの人に 松本川で豊漁祈願  萩・椿まつり21日に開幕  「涙松」碑の脇に黒松2本を植樹  椿まつり始まる  萩・椿まつり開幕  あでやか「萩・明倫学舎」雑祭りイベント  “5”をテーマに「GO TO 萩」萩市が観光  「GO TO 萩」催し多彩  春を告げるシロウオ漁  文化財を活用明倫学舎開設  県内名所バーチャル旅行も楽しんで  伝統の豆腐は地域の自慢  萩・明倫学舎で食や文化体験</p>	<p>R3.10.1  R3.10.1  R3.10.2  R3.10.3  R3.10.4  R3.10.4  R3.10.5  R3.10.7  R3.10.8  R3.11.6  R3.11.9  R3.11.9  R3.11.10  R3.11.19  R3.11.19  R3.11.21  R3.11.23  R3.11.26  R3.12.3  R3.12.3  R3.12.6  R3.12.10  R3.12.15  R3.12.18  R3.12.19  R3.12.20  R4.1.12  R4.1.13  R4.1.14  R4.1.14  R4.1.15  R4.1.18  R4.1.25  R4.1.26  R4.1.27  R4.1.30  R4.2.3  R4.2.7  R4.2.7  R4.2.8  R4.2.10  R4.2.10  R4.2.10  R4.2.10  R4.2.12  R4.2.17  R4.2.17  R4.2.18  R4.2.18  R4.2.22  R4.2.22  R4.2.22  R4.2.23  R4.2.24  R4.2.26  R4.3.2  R4.3.9  R4.3.19  R4.3.20</p>	<p>山口新聞  毎日新聞  山口新聞  山口新聞  山口新聞  山口新聞  読売新聞  山口新聞  西日本新聞  朝日新聞  読売新聞  山口新聞  読売新聞  山口新聞  山口新聞  朝日新聞  山口新聞  読売新聞  毎日新聞  山口新聞  西日本新聞  山口新聞  山口新聞  朝日新聞  毎日新聞  山口新聞  山口新聞  毎日新聞  山口新聞  山口新聞  山口新聞  毎日新聞  山口新聞  毎日新聞  山口新聞  山口新聞  毎日新聞  山口新聞  山口新聞  毎日新聞  山口新聞  山口新聞  毎日新聞  朝日新聞  山口新聞  山口新聞</p>
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p>	<p>実施にあたっての課題(自由記述)</p>	
<p>□計画の進捗に影響あり  ■計画の進捗に影響なし</p>	<p>各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。</p>	

評価軸⑥  
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

計画に記載している内容  
 萩市は、平成21年1月19日に第1期計画となる「萩市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的建造物等の保存・修理を計画的に行ってきた。  
 歴史的に重要な文化財が数多く残存する萩市において、この豊かな萩市固有の歴史的風致を次世代に伝え、引き継いでいくため「歴史まちづくり法」第5条第1項に基づき、「萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)」を策定した。

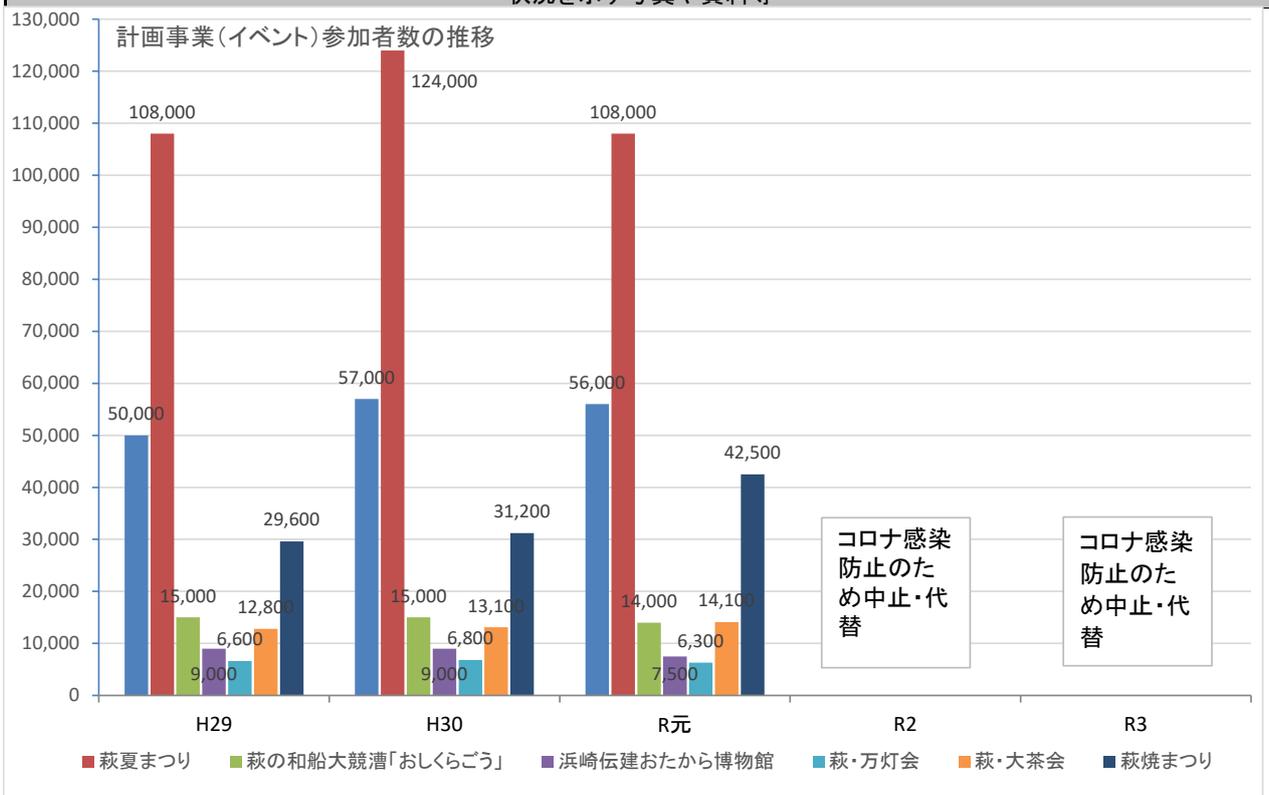
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。  
 具体的には、歴史的風致の維持及び向上に資する各事業を進めたことにより、例年各イベント参加者数などが高水準を維持しており、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。  
 令和3年度は、コロナウイルスの影響のため、主要イベントが中止となったが、感染対策を行いながら、観光施設の公開を行っており、県内学校の修学旅行などで秋季で集客増となった。また、古民家等を活用した、宿泊施設や店舗などの取り組みも見られ、歴史的風致の維持・向上の一躍を担っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
 ■計画の進捗に影響なし  
 コロナ対策のため、安心・安全な観光地づくりが課題となっている。感染対策を引き続き実施していくとともに、古民家等の活用を積極的に推進し、歴史的風致の維持・向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
評価軸③-20	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和3年3月24日	
(コメントの概要)	
協議会議事	
(1) 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について	
コメント等	
・コロナ禍における、イベント等の事業実施による活性化について ・指定文化財の数の推移について ・文化財の防犯・防火の取り組みについて ・文化財の適切な維持管理について ・赤間ヶ関街道の「歴史の道」への全指定について	